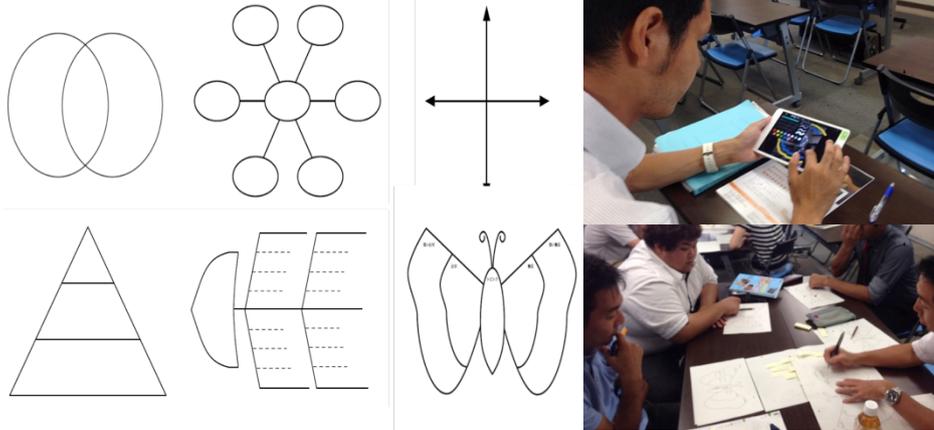


メディアワールド

横浜市立小学校
情報・視聴覚教育主任様

横浜市小学校教育研究会
情報・視聴覚教育研究部会員様



平成26年度 11月号
(9月研究会)

【発行】
横浜市小学校教育研究会
情報・視聴覚教育部会
会長 渡邊 和也

スキルアップ部会 「ロイロノート・スクールの活用」 授業デザイン部会 「シンキングツールを使った授業デザイン」

スキルアップ部会では、株式会社 LoiLo 様のご協力により、ロイロノート・スクールの説明と体験を行いました。ロイロノートは、マルチプラットフォーム対応のタブレット用授業支援アプリです。教材の配布や質疑応答を、タブレットを使って行うことで、子どもと先生のコミュニケーションを活性化させ、子供たちが主体的に自分の言葉で説明できるようになる、21世紀に必要とされる能力「思考力」「判断力」「表現力」を育むツールとして注目されています。テキストや写真、動画などを指一本でつなぎ合わせるだけで簡単にプレゼンテーションを作成することができる、とても便利で簡単に使えるソフトを紹介していただきました。このソフトを活

用することで、子どもの協働学習充実させるだけでなく、先生が子どもの学習状況を簡単に把握することが可能になります。実際にiPadを使って参加者の方々に触って、その活用場面等について話し合いをしました。

授業デザイン部会では、実際に参加者がシンキングツールを使い、シンキングツールの使い方や効果について研究を深めました。「考えることを助けてくれる」シンキングツールには様々なものがあり、参加者がジグソー学習の形で様々なツールを実際に使い、研究会の最後には、4年生国語の「アップルルーズで伝える」の授業案を考えました。シンキングツールを活用することで、子ど

も同士の話し合いが活性化したり、考えの流れを可視化できたりするなど、多くの効果について学ぶことができました。最終的には、多くのシンキングツールの中から、子ども自身が必要なツールを選択し、他教科・生活面において自発的に活用できる子どもに育てていくことが望ましいです。まずは、教師が思考スキルを用いる課題設定をし、「使ってみる」ことから始めようと思える有意義な研究会でした。



【編集】
紀要・広報委員会 武井 三也
〈青葉区 鴨志田緑小学校〉